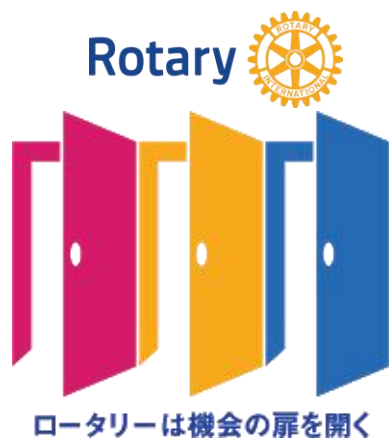


相模原中RC 会報



第 2064 回例会

3月9日 No.23

会長 佐々木 敏尚 幹事 小崎 直利

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校



クラブフォーラム「今後の例会について」 (概要にて掲載)

会長 佐々木 敏尚

資料は事前に、会員皆様に送付済みですが、RI 事務総長からのオンライン例会の勧告や、久保田ガバナーから 3月 7日までの対面例会の自粛について書状が来ております。

その後、3月 8日からの緊急事態宣言の再延長による地区の指針については、久保田ガバナーからは現在まで、何も連絡は来ておりませんが、本日 18:30～会長幹事会 (Zoom) がありますので、何か情報があるかと思えます。

ご参考までに、第 5グループ内の他クラブでは Zoom 例会が主で、現在、対面例会を実施しているクラブはありません。また緊急事態宣言

の期間中は全ての例会を取止めて、Zoom 例会もしていないクラブもあります。

今後、緊急事態宣言が解除された場合、どのように例会運営をしていくか、ご意見をお願い致します。

<会員よりの意見・要望など> (要約)

- ・今の状況だと、Zoom でやるしかない。もう少し落ち着いてきたら、通常例会を考える。
- ・皆様に会えず残念ですが、国の指針により、例会を取止めるか、Zoom 例会かになると思います。ただ Zoom 参加ができていない会員もいるので、考えて頂ければと思います。

- ・RIの指針や勧告より、自国の指針に基づいて実施することが重要。Zoom 例会ができる環境になっているので、続けていけば良い。
- ・緊急事態宣言が解除され、対面例会で行う場合でも、どのような対策を取るべきかを理事会で検討していただきたい。例えば、食事はせず、テイクアウトにするなど。
- ・緊急事態宣言が解除された場合は、対面例会でやった方が良い。対処しなければならないところは対処して、やっていく。

会長の時間

【新型コロナウイルス】

本日は、当クラブでは2度目の完全オンライン（Zoom）例会です。本日も多くの会員皆様のご参加に感謝致します。1月8日から緊急事態宣言がなされ、当初は2月7日までの期間が3月7日までに、更に3月21日までに再度延長されました。

昨日の報道によれば、神奈川県内の感染状況は週別の新規感染者数が、7週ぶりに前週より増加し、県は改めて感染防止対策の徹底を呼び掛けているとのこと。皆様にもくれぐれも感染症対策にご留意下さるようお願い致します。

前回例会は、2月16日に完全オンラインで行ない、その際に例会はあまり開催できていない状況ですが、当クラブ理事会は緊急事態宣言下でも頻繁に開催している旨をご報告しました。前回の例会後も2月24日、3月2日と毎週1回のペースでオンライン理事会を開催しております。

皆様には既に資料をお送りしていますが、今年2月にRI理事会が、全ての地域リーダー、地区ガバナー、クラブ会長、その他の方々に対し、本年度の残りの期間をオンラインで会合を開くように勧告しました。つまり、今年度6月末までの期間、例会を含む全ての会合をオンラインで開くように勧告しているものです。

現在は緊急事態宣言下にありますので、当地区のほとんどのクラブ例会は、オンラインで開催されていますが、緊急事態宣言の終了後、リアルな例会を開催するか、それとも完全オンラインの例会とするべきかについて、先日の理事会で議論

したところ、まずは会員皆様のご意見をお聞きした方が良いということになり、本日はこの後、クラブフォーラムを開催し、今後の例会運営に関する皆様のご意見を後程、お伺いできればと考えておりますので、宜しくお願い致します。

【奉仕活動】

当クラブの今年度奉仕活動は、地区補助金を利用した「チャレンジド・チルドレンー遊びのフェスティバル」を計画しておりましたが、コロナの影響を受け中止となりました。また少年野球も空飛ぶシューズ活動も中止となっており、これまでのところ奉仕活動は何も行なえておりません。

しかしコロナ禍においても、助けを必要としている方々はたくさんおられますから、当クラブとしても今年度は何もしないわけにはいかないと考え、金沢奉仕委員長を先頭にして、理事会で今年度奉仕活動をご検討頂いており、後程、金沢委員長からご報告があると思いますので、皆様のご協力をお願い致します。

【平和構築と紛争予防月間】

2月は「平和構築と紛争予防月間」でした。ロータリーの友2月号に月間の特集として、大変興味深い記事が掲載されておりました。多くの会員様は、まだ2月号をお読みになっていないと思いますので、記事の概要をご紹介します。

記事のタイトルは「被爆学生の証言“死の谷間”原爆症からの生還」で、講演者は福井順（すなお）さんです。この福井順さんは、2008年に82歳でお亡くなりました。経歴によれば、元長崎記念病院理事長、長崎RC会員、2001～02年度2740地区ガバナーと記載されていますので、長崎県内のロータリアンの医師で、ガバナーまで務められた方のようなようです。

タイトルからお判りの通り、1945年に長崎市内で被爆した経験を講演で語った内容です。少し長いですが、とても感銘を受けましたので、以下に要約してご紹介させていただきます。

（ロータリーの友2月号7頁～より引用）

『1945年8月9日、長崎市の爆心地より700mの近距離で私は被爆しました。長崎医科大学に通う

19歳の医学生でした。その日その時、私は大学付属病院の南講堂にいました。午前11時近く、私は病院実習から南講堂に戻りました。白衣を学生服に着替え、鉄かぶとを抱き、ノートを入れた鞆を持って、1階の最後部に近い椅子に座っていました。講堂内には、そのような学生が10数人いたと思います。

ちょうどその時、航空機らしい爆音が聞こえてきました。誰かが「B29のようだな」とつぶやきました。講堂の西側にいたK君(即死)が「どれ、一つ見てやるか」と窓を開け、上空を見て、「おや?落下傘だ」といいました。その一瞬で、「広島に投下された新型爆弾」だと直感しました。

私は夢中で鉄かぶとをかぶって、階段教室を教壇の方に矢のように走って下りました。途中、「シャー」というような鋭い音を聞き、教壇の下の板張りの床に身を伏せました。

原子爆弾のことを「ピカドン」といいますが、後からいくら考えても、ピカッと光ったことも、爆風の衝撃も思い出せません。ただ、目と耳を抑えて伏せようとしたことだけは記憶にあります。ものすごいショックによる一時的な記憶喪失だと思います。(中略)

それから約3週間後、9月になり、何となく体がだるく、めまいを感じ、すぐ横になる日が続きました。忘れもしない9月5日の朝、洗面所で歯を磨いていると、歯ぐきからかなりの出血がありました。頭も重く、咽頭が痛み、食欲もないので、ほとんど一日中を寝て過ごしました。

夕刻に中学同級のH君が新聞を1枚持って訪ねてきました。彼が差し出した記事には「広島に新しい原爆症発生」という大きな見出しがあり、私の眼はこれに釘付けになりました。

「広島に新しく発生した原爆症状は、まず歯ぐきより出血し、その後に発熱があり、扁桃腺炎のような症状を呈し、急速に衰弱、出血性傾向が強くなり、高度の貧血を来し、さらに全身に大小の皮下出血性斑点を生じ、ついに死亡に至る。適切な治療は見つからず、死者は増加の一方をたどっている。」

いくら読んでも、命が救われたという記述はありませんでした。その日のうちに、体温は38℃を

超え、夜には母の依頼で、長崎医科大学外科講師のS先生が往診に来てくれました。しかし、翌日には体温が40℃にも達し、頭痛、倦怠感、脱力感は強く、歯ぐきからの出血以外に鼻血もありました。咽頭痛がひどく、食べ物を飲み込むのが苦痛でした。(中略)

母は最期にもう一度、S先生に往診を依頼したようです。「原爆症に間違いありません。私の力ではもう及びません。でも出来るだけの手当はしてみます」チョコチョコキ・・と、S先生の外科用のハサミが口腔内の壊死した箇所を取り除く音が聞こえましたが、痛みはもう感じませんでした。

私は、朝とも昼とも夜とも知れぬ時間の中にいたようです。夢のようでもあり、現実のようでもありました。その頃、足の方から斜め上方の宙に向かって、体が浮いて引き込まれるような気が何度もしました。「死ぬのだな」と観念しました。

多くの友人、好きだった友人の妹、先に死んだ彼らのことが頭に浮かびました。その時です。

「順!しっかりするのよ、順さん!」母の手が私の手を握り締める感覚。それは生と死の間を繋ぐ唯一の感触でした。意識を失い、その意識が戻るたびに母は傍らにいました。3日3晩、母は一睡もせずに、私の手を握っていました。死の約束から私が逃れたのは、まさしく母の限りない愛の力によるものです。

約4日間、生死の間をさまよった後、私は「水、水を・・」と訴え、それから少しずつ意識が戻っていったそうです。「死なせてなるものか、絶対に離すものかと手を握っていたのよ」と、後年、母は語っていました。(中略)

それから約3年を経た49年の晩秋、私は東京大学医学部に通っていました。ある日の午後、病理学のM教授から呼び出しを受けました。何の用件か全くわからなかった私は、教授の温和な姿を思い浮かべ、勇を鼓して教授室のドアをノックしました。

「福井君か、入りたまえ。君は原爆で酷い目に遭ったそうですね。その時の話をしてくれませんか」私は教授に尋ねられるままに全てを語りました。被爆の翌年には白血球が増加し、骨髓の造血機能異常を疑っていることも訴えました。当時、私は

本当に不安でした。私の命はあまり長くないと思
いこんでいました。

聞き手は、国際的にも名高い病理学の教授です。
なにかの教えをもらえるのではないかと、すがり
つくような望みがありました。M教授は全てを聞
いた後、「本当に君も心配なことだろう。ところで、
君の血液と骨髄穿刺検査を、私に任せてくれませ
んか。」と言うのです。

骨髄穿刺は相当な痛みを伴うと聞いていまし
ましたが、当時の私にとっては望外の提案でした。す
っかり有頂天になった私は「ぜひ、お願い致しま
す。どうせ長くはない体ですから・・・」と言って
しまいました。

その時です。教授の顔が突然変わりました。「な
んということも君は言うのだ！そんな考えを持
っている者は、ここには必要ない。さっさと退学
届を書いて、郷里で死んだらどうだ！」

それは衝撃的な一喝でした。私は啞然として、
その言葉の真意をくみ取る余裕もなく、ただ恐ろ
しくて目を伏せていました。

「いいか、福井！ 医者というものは一日でも
長く生きて、一人でも多くの患者のために働くも
のだ。努力するものだ。できるだけ長く、世のた
めに尽くす大切な職業なのだ。どうせ長くはない
とはなんだ。そういう人間は医師になる資格はな
い。それも分からない人間に教える医学はな
い！」

一言一句が心に食い込みました。それは、若く
愚かな医学生に対する強烈な嫉だったと思いま
す。「先生、申し訳ありません。二度とあのよう
なことは申しません。努力します。お許し下さい」

いつの間にか床の上に両手をついていました。
涙がぼたぼたと手元に落ちてきました。しばらく
して、教授の口が開きました。「君が馬鹿なこと
を言うから、こっちまで言い過ぎてしまったじゃ
ないか。奇跡的に助かった身じゃないか。一日で
も長生きしろよ。そのために医学があるんだから」
その後の胸骨をえぐる穿刺針、骨髄穿刺液
採取の痛みは、私にとってはもう問題ではありま
せんでした。

数日後、M教授から呼び出しを受けました。ど
んな結果だろうと素直に受け入れる覚悟でした。

「心配無用だ、福井君。骨髄は立派に再生してい
る。いいかい、放射能というのはね。まず未熟な
細胞、病的な細胞を破壊するんだよ。君の体の中
には骨髄の幼若細胞と同じように、将来ガンにな
るような細胞だってあったかもしれない。そうし
た細胞もみんな死んでしまったんだよ。

19歳の時に被爆して、そこで生まれ変わったと
思いなさい。40歳になったら20歳になったと思
い、60歳になったら、40歳になったと思うよう
にして、一日でも長生きしろよ。死んだ友人の分
まで生きるんだ」

予想もしなかった温かい励ましの言葉を私はい
ただきました。私の「どうせ長くはない」という
気持ちだが、「生きられるだけ生きてやるぞ」という
決意に変わった瞬間でもありました。』

以上が、2008年に82歳で亡くなられた福井順
(すなお)さんの講演録の一部です。私はこの記
事を読み、改めて平和の大切さを感じるとともに、
死の淵から命を引き戻した母親の愛の力に感動し
ましたし、また19歳の時に被爆して原爆症に苦
しみながらも、82歳まで医師として患者のため
に尽くしたロータリアンがおられたことに大変な
勇気をもらいました。

ぜひロータリーの友2月号の特集をお読み頂き
たいと思い、ご紹介させて頂きました。

リアルの例会が開かれないと、例会場でロータ
リーの友の配布がされませんが、事務局には届い
ておりますので、早く読みたいという方は事前に
事務局に連絡の上、受け取りに行かれて下さい。

<委員会報告・奉仕活動について>

金沢奉仕プロジェクト委員長

今年度地区補助金事業「遊びのフェスティバル」
は中止となり、ホースセラピーも麻布大学が外部
者の制限を行っているため中止となりましたが、
「遊びのフェスティバル」の一環で、人力車に障
碍児を乗せて走るイベントがあります。

屋外の活動なので実施を予定しています。日程
は5月9日、10～17時の時間帯で、場所は鹿沼
公園を予定していますが、公園の周りを走る場合
安全管理などでお手伝いを頂ければと思います。

また、この活動は相模原市からの「後援」もいただくことができました。(概要にて)



●佐々木会長、小崎幹事

①皆さん、こんにちは！今年2回目の完全Zoom例会です。

②緊急事態宣言が延長されましたね。先日の土曜日は本来ならば、IMの開催日でした。IM中止はやむを得ませんでした。結果的には良い判断だったのではないかと思います。通常例会を実施するには、もうしばらく辛抱が必要なようです。

●豊岡 淳会員

①3月会員誕生日祝の皆様、おめでとうございます。リアルにお祝いしたいですね！

②会長・幹事、本日のクラブフォーラム宜しくお願い致します。

●中里 和男会員、最住 悦子会員

①緊急事態宣言延長になってしまいましたね。リアル例会ができるのを楽しみにしています。

②3月誕生日祝の皆様、おめでとうございます。

<2月24日 臨時理事会 (Zoom) 報告>

①3月例会について

- ・3月2日 例会取止め
- ・3月9日 12:30～「Zoom例会」 今後の例会(緊急事態宣言解除後)のクラブフォーラムを行う。事前にRIとガバナーの書簡を全会員に送付。

②クラブのZoomアカウントの取得について

取得を承認。(経費は年間で2万円程度)今年度は小崎幹事にZoom管理者の担当を依頼。

③次年度インターアクト委員長(=次年度の地区インターアクト委員)の件。

前年度の提案にて、今年度会長が次年度インターアクト委員長に就任することを検討。地区からの依頼要請が来た段階で再検討する。

<3月2日 定例理事会 (Zoom) 報告>

①今年度の奉仕事業について

ホースセラピー活動→「人力車」に変更しての提案。(大学側が外部の構内入場制限を解除していないので、GWまでの実施が難しいため)予算は1台5万円程度。日程や場所は未定。金沢奉仕プロジェクト委員長が日程と場所の打合せをして、次週9日のZoom例会にて活動内容を報告する。

②次年度 地区補助金の申請について

コロナの状況が不透明なため、申請は取止める。

③金沢会員より休会届の提出。

休会届を承認。

④金沢会員(次年度理事・奉仕プロジェクト委員長)より休会届による次年度新委員長選出の件細則により、次年度理事会で選出する。

<3月9日 臨時理事会 (Zoom) 報告>

①3月例会予定及びプログラムについて

- ・3月16日 12:30～Zoom例会「PETS報告」
- ・3月23日 12:30～会員卓話(予定)
- ・3月30日 12:30～※プログラムは未定

②相模原東RCより、事務局兼任の依頼について

東RCの事務局員が5月末で退職により。

(柴胡RCにも経緯は連絡済み)兼任の方向で進める。

③今年度の奉仕活動について

障害児及び家族を対象にした「人力車」プロジェクトを承認。相模原市の後援あり。日程(予定):5月9日(日)10～17時
場所(予定):鹿沼公園(淵野辺駅前)
予算:2台で10万円を予定。(参加人数により1台になる場合もあり)



報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①PETS (会長エレクト研修セミナー)のお知らせ

今年度は、当初より集合対面方式での開催を模索しておりましたが、行政やRI事務総長からの勧告により、オンラインにて開催し、全体会議と分科会を別日程で行うこととしました。
(後日、グループ別分科会は開催)

また、全体会議にはシェカール・メータRI会長エレクトのZoom参加が決まり、特別講演をされます。

日時：3月13日(土) 13時点鐘 16時閉会

②次年度クラブインターアクト委員長について のお願い

貴クラブの次年度インターアクト委員長に、地区インターアクト委員として、活動いただきますので、クラブで決まりましたら早急にお名前をお知らせ下さい。

※理事会承認により、中RCの専用アドレスを取得し、今回よりZoom例会を開催しています。今まではミーティング時間も40分の制限がありましたが、24時間可能となり、参加者も100名までとなりました。またミーティングの内容も録画保存することができます。



<3月のお祝・会員誕生日祝>

(例会再開後にお渡し、または宅配便)

- ・丸子 勝基会員 3月 8日
- ・金沢 邦光会員 3月12日
- ・大槻 実会員 3月13日
- ・藤本 恵介会員 3月25日



<丸子会員よりショートスピーチ>

誕生日祝をありがとうございます。79歳になりましたが、元気でいたいと思います。ロータリーで皆さんから刺激を受けながら、頑張っていきます。(概要にて)

例会プログラム

3月16日 Zoom 例会 「PETS 報告」

担当：田後会長エレクト

23日 Zoom 例会

卓話 藤本 恵介会員

30日 Zoom 例会

※プログラム未定

例会記録

点 鐘 12時30分

司 会 豊岡 淳SAA

斉 唱 「国歌君が代」

ロータリーソング「四つのテスト」

出席報告(Zoom)

会 員	出席(出席対象21名)	事前メイク者
28名	20名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(2/16)
2名	90.9%	87.5%

●例会場 中国名菜「敦煌」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-13-1

TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3

相模原商工会館 3 F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

●例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

●編 集 親睦活動委員会

委員長：阿部 毅 副委員長：河野 崇

委員：竹田 繁、黛 裕治、伊倉 正光

阪西 貴子、大槻 実

●<http://sagamiharanaka-rc.jp/>